

「中央アジア・コーカサスにおける環境問題と日本の役割」 （「中央アジア+日本」対話・第7回専門家会合）

日時：令和4年3月16日（水）15時～19時

言語：日・英・露（同時通訳有）

開催方法：Zoomによるオンライン方式

*参加無料・事前登録制

お申し込みはこちら

※外部サービスによる申し込みフォームとなります

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSfvTgcftxXwbv_VUrQnsO98XsW3VeNq2Nlvm1qVgcUniE_zw/viewform?usp=pp_url



日・中央アジア5か国外交関係
樹立30周年公式ロゴマーク



中央アジア・コーカサス地域にはアラル海などの水資源をめぐる問題や山岳地帯への気候変動の影響など国境を越えて広がる環境問題が存在しています。

また近年、温暖化対策の観点から、世界的に化石燃料から再生可能エネルギーなどのクリーンエネルギーへの転換が進められています。

日本は昨年10月に「2050年カーボンニュートラル」を宣言し、「経済と環境の好循環」を作っていく産業政策（グリーン成長戦略）を推進しています。

本セミナーでは、中央アジア・コーカサス地域における環境問題の現状と今後日本の取り組むべき課題について、日本および中央アジア・コーカサス諸国の専門家が議論します。

◆プログラム（予定）

【15:00-15:05】外務省開会挨拶

【15:05-15:30】基調講演 川端良子 東京農工大学農学研究院准教授

【15:30-15:40】休憩

【15:40-16:40】セッション1 「中央アジア及びコーカサス地域の水・土壌と社会」

モデレーター：地田徹朗 名古屋外国語大学准教授

（北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター共同研究員）

日本側報告者：峠嘉哉 東北大学助教

招待国からの報告：ウズベキスタン、カザフスタン、トルクメニスタン

【16:40-16:45】休憩

【16:45-17:45】セッション2 「気候変動と山岳環境の持続可能な将来」

モデレーター：宇山智彦 北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター教授

日本側報告者：奈良間千之 新潟大学教授

招待国からの報告：アルメニア、キルギス、タジキスタン

【17:45-17:50】休憩

【17:50-18:50】セッション3 「日本と中央アジア・コーカサス地域の協力：二国間クレジットの地域的潜在性」

モデレーター：武田善憲 外務省中央アジア・コーカサス室長

日本側報告者：佐藤盟信 外務省気候変動課課長補佐

宇賀まい子 環境省地球環境局地球温暖化対策課市場メカニズム室主査

石原雅美 公益財団法人地球環境センター（GEC）企画官

招待国からの報告：アゼルバイジャン、ジョージア